

－ 医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読み下さい。－

## 注意事項等情報改訂のお知らせ

K、Mgアスパルテート製剤

**アスpara® 配合錠**  
ASPARA® Tablets

2024 年 3 月

製造販売元 田辺三菱製薬株式会社

販売 ニプロ ES ファーマ株式会社

このたび、標記製品につきまして、注意事項等情報を改訂しましたのでお知らせいたします。  
今後のご使用に際しましては、下記内容をご参照下さいますようお願いいたします。

### ■改訂概要

改訂項目	改訂内容	改訂理由
禁忌	対象となる患者を一部追記、修正しました。	相互作用相手薬の電子添文との整合性を図るため
相互作用	併用禁忌と、併用注意に相当する薬剤名(対象疾患)を一部追記、修正しました。	

### ■改訂内容

改訂後(下線部:変更箇所)			改訂前		
2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） ～ 略 ～ 2.7 エプレレノン(高血圧症)、エサキセロンを投与中の患者[10.1 参照]			2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） ～ 略 ～ 2.7 エプレレノンを投与中の患者[10.1 参照]		
10. 相互作用 10.1 併用禁忌（併用しないこと）			10. 相互作用 10.1 併用禁忌（併用しないこと）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
エプレレノン(高血圧症) セララ エサキセロン ミネプロ [2.7 参照]	～ 略 ～	～ 略 ～	エプレレノン セララ [2.7 参照]	～ 略 ～	～ 略 ～

改訂後(下線 部:変更箇所)			改訂前		
10.2 併用注意 (併用に注意すること)			10.2 併用注意 (併用に注意すること)		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
エプレレノン (慢性心不全) フィネレノン	血清カリウム値が上昇する可能性があるの で、血清カリウム値を定期的に観察するなど十分に注意すること。	カリウム貯留作用が増強するおそれがある。	新設		
カリウム保持性利尿剤 スピロノラク톤 トリウムテレン等 アンジオテンシン変換酵素阻害剤 イミダプリル塩酸塩 カプトプリル エナラプリル マレイン酸塩等 アンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤 ロサルタン カリウム カンデサルタンシレキセチル バルサルタン等 非ステロイド性消炎鎮痛剤 インドメタシン等 β遮断剤 プロプラノロール メトプロロール等 シクロスポリン ヘパリン ジゴキシン トルバプタン	高カリウム血症があらわれることがある。定期的に血清カリウム値を観察し、異常が認められた場合には、本剤を減量するなど適切な処置を行う。	カリウム保持性利尿剤はナトリウム、水の排泄を促進し、カリウムの排泄を抑制する。 アンジオテンシン変換酵素阻害剤、アンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤は、アルドステロンの分泌を低下させ、カリウムの排泄を減少させるため、併用により高カリウム血症があらわれやすくなると考えられる。 非ステロイド性消炎鎮痛剤、β遮断剤、シクロスポリン、ヘパリン、ジゴキシン、トルバプタンは、血中のカリウムを上昇させる可能性があり、併用により高カリウム血症があらわれやすくなると考えられる。 腎機能障害のある患者。	カリウム保持性利尿剤 スピロノラク톤 トリウムテレン等 アンジオテンシン変換酵素阻害剤 イミダプリル塩酸塩 カプトプリル エナラプリル マレイン酸塩等 アンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤 ロサルタン カリウム カンデサルタンシレキセチル バルサルタン等 非ステロイド性消炎鎮痛剤 インドメタシン等 β遮断剤 プロプラノロール メトプロロール等 シクロスポリン ヘパリン ジゴキシン	高カリウム血症があらわれることがある。定期的に血清カリウム値を観察し、異常が認められた場合には、本剤を減量するなど適切な処置を行う。	カリウム保持性利尿剤はナトリウム、水の排泄を促進し、カリウムの排泄を抑制する。 アンジオテンシン変換酵素阻害剤、アンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤は、アルドステロンの分泌を低下させ、カリウムの排泄を減少させるため、併用により高カリウム血症があらわれやすくなると考えられる。 非ステロイド性消炎鎮痛剤、β遮断剤、シクロスポリン、ヘパリン、ジゴキシンは、血中のカリウムを上昇させる可能性があり、併用により高カリウム血症があらわれやすくなると考えられる。 腎機能障害のある患者。

## ■改訂理由

### <医薬安通知によらない改訂>

相互作用相手薬の電子化された添付文書との整合を図るため、「禁忌」、「併用禁忌」及び「併用注意」の項を改訂しました。

- 注意事項等情報改訂の内容は、医薬品安全対策情報(DSU)No.325(2024年4月発行)に掲載される予定です。
- 電子化された添付文書は、下記ウェブサイトにて閲覧できますので併せてご参照ください。

- ニプロ ES ファーマ株式会社 <https://www.nipro-es-pharma.co.jp>
- PMDA <https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>

- 「添文ナビ」※で医薬品の外箱等に記載された GS1バーコードを読み取ると PMDA ウェブサイト上の最新の電子化された添付文書を閲覧できます。

※ 使い方は、こちらをご参照ください。

[https://www.dsri.jp/standard/healthcare/tenbunnavi/pdf/tenbunnavi\\_HowToUse.pdf](https://www.dsri.jp/standard/healthcare/tenbunnavi/pdf/tenbunnavi_HowToUse.pdf)

※ダウンロードはこちらから

iOS 版

Android 版



- GS1 バーコード

アスパラ配合錠



(01)14987813704833

【 お問い合わせ先 】 ニプロ株式会社 医薬品情報室 [専用ダイヤル 0120-226-898]

23-013